

園だより 9月

主よ、あなたの道をわたしに示し、あなたに従う道を教えてください。

詩編 25 編 4 節

これまでにない猛暑の日々が続いた夏休み、お元気にお過ごしでしたでしょうか。幼稚園は暑さにも負けず元気に過ごすにじっこ・くまっこの子どもたちの声が響く、なんとも穏やかで平和な夏休み期間でした。

夏休み中に開催されていたパリオリンピックは、日本選手の活躍が目覚ましく、その日に向けて精一杯の力を発揮し、輝いていた様子には、選手たち自らが望み選び、努力した競技にたいする思いの強さがあると感じました。映像から伝わって来る喜びやくやしさに共感しながら、そこまでの日々にはどれだけの自分との戦いが有ったことか、苦しさを乗り越えて来たことか。そのことに向き合い自分を信じて努力をし続けたからこそその結果が応援する私たちに感動を与えてくれるのだと思いました。主体性を持って取り組んでいるからこそ、乗り越える課題であったり、心理的な苦しさにも、耐える力が湧いてくるのでしょうか。自らのやりたい！との思い（主体性）がその人を輝かせる重要なエネルギーとなっているのです。結果が金メダルであっても、メダルにとどかなくてもそれがおおきなことではなく。こんどはパラリンピックが始まりました。また沢山の感動が生まれることでしょう。

2学期が始まります。今学期も子どもたちの「やりたい！」という気持ち・意欲、主体性を大事に、幼稚園生活を過ごして参りたいと願います。暑さも行き過ぎ、心地よい季節がやって参ります。心も体も伸び伸びと躍動する季節です。子どもたちの細やかな心もちを受け止め、想いを共有し、そこから様々に発展していく遊びを深めて過ごして参ります。夏期保育で久しぶりに会った子どもたちからは溢れるエネルギーを感じています。そのエネルギーを大切に過ごす2学期もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

園長 駿河 幸子

